

計画作成に向けた基礎データ

1. 地区地域福祉活動計画から抽出した学びのシート
2. 市民ワークショップによる市民提案
3. 福祉サービス利用者のニーズ調査
4. 福祉関係団体・機関の現状把握
5. 市内の中・高生へのまちづくりアンケート
6. 行政施策の現状把握
7. 外部委員による市社協活動の評価

課題整理の流れ

- ステップ 1 計画作成に向けた基礎データの収集
- ステップ 2 データから課題を抽出し、それぞれの対応策を「〇〇が必要」とし、5グループに分類する
- ステップ 3 分類したグループ毎に類似する事柄を絞り込む
- ステップ 4 分類した具体策「〇〇が必要」を「誰が」取り組むかで整理し、一覧表を作成
- ステップ 5 一覧表に行政や市社協活動等の関連項目毎に取り組みの現状を記入

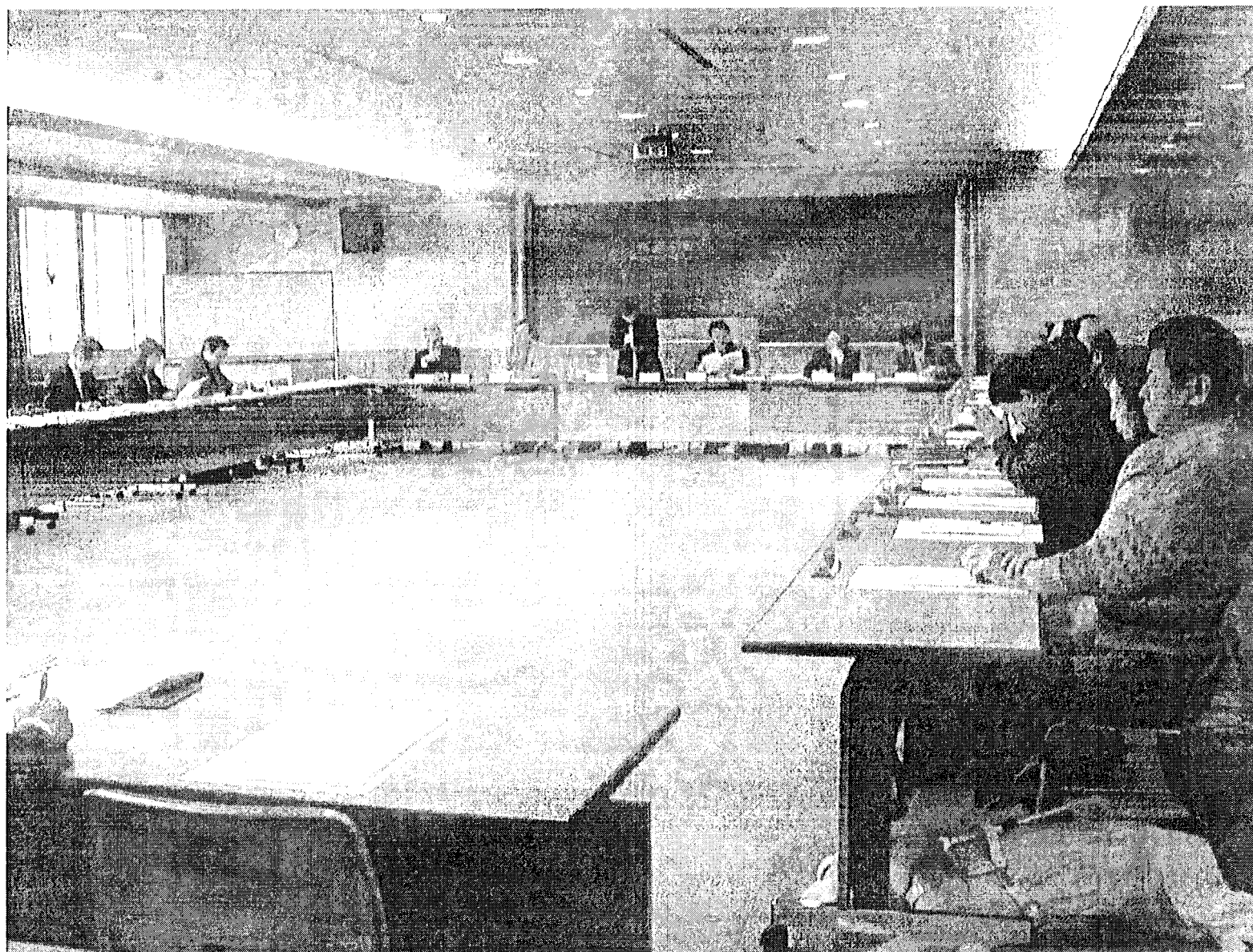
抽出した課題の分類と絞り込み

- A 福祉ニーズの解決 103 → 76
- B 生活環境の整備 96 → 61
- C コミュニティづくり 102 → 53
- D ひとづくりの推進 67 → 39
- E 市社協体制の見直しの強化 32 → 21

当初の課題総数 400

絞り込み後の課題数 250

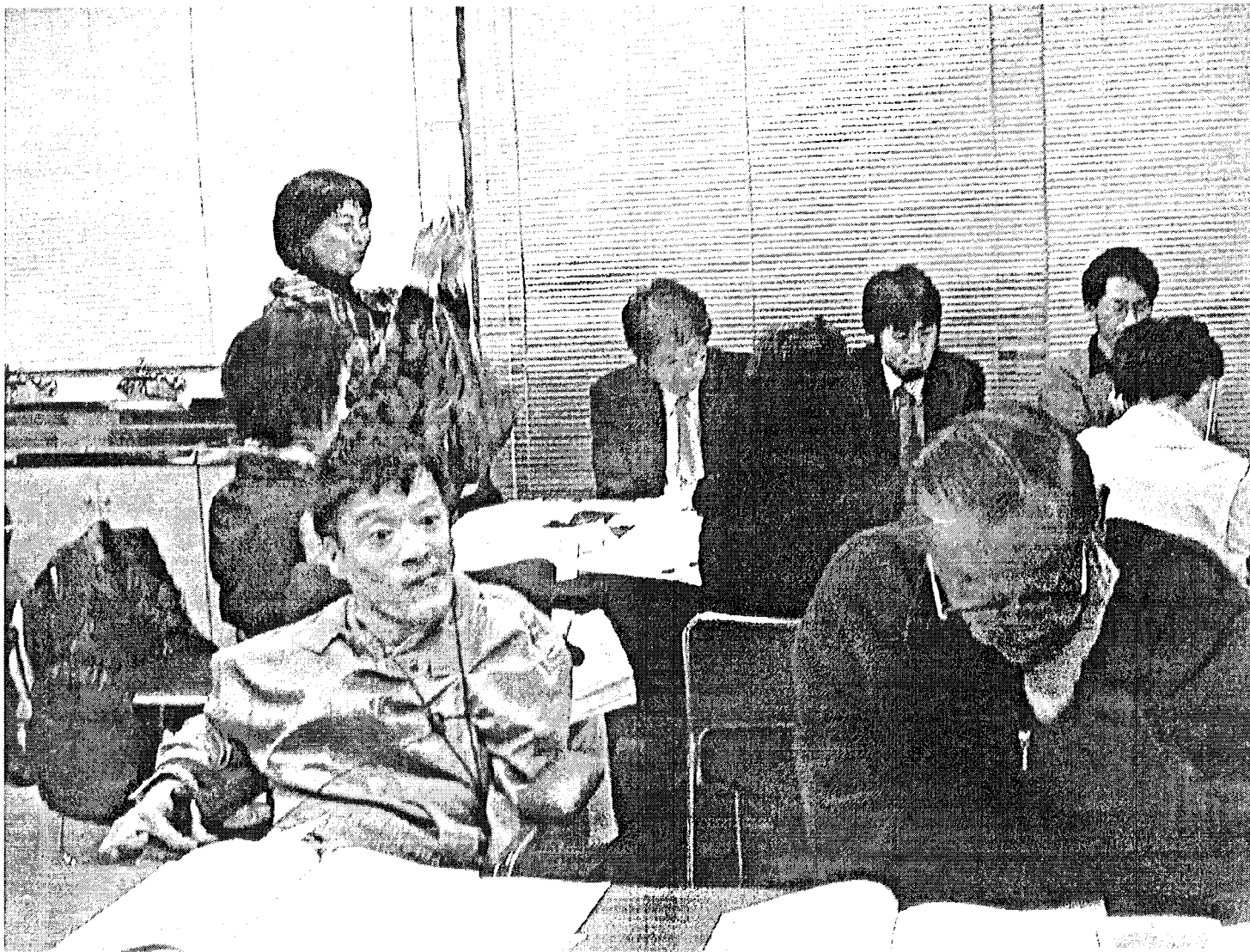
策定・作業合同委員会



計画の素案を作成

- 平成16年2月13日に市民ワークショップ参加者と意見交換会
- 平成16年3月1日 松江市議会厚生委員会と意見交換
- 各団体の会合に出かけ意見交換
- 市ホームページ上で公開

市民ワークショップ参加者との 意見交換会



みんなでやらこい 福祉でまちづくり 推進セミナーPART Ⅲ

